



Title	大阪大学アーカイブズニュースレター 第17号
Author(s)	
Citation	大阪大学アーカイブズニュースレター. 2021, 17, p. 1-8
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/79225
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



目次：

大阪外国語学校の創立と林蝶子氏	1	科学研究費補助金の採択	6
大阪大学吹田キャンパスに移転しました	2	専任教員が認証アーキビストに認証されました	7
国立公文書館の認証アーキビストと大阪大学の アーキビスト養成・アーカイブズ学研究コース元年にあたって	4	業務日誌（抄）（2020年9月～2021年2月）	7
令和2年度 共同展示会「大阪と北摂の過去と 現在をつなぐ記録と記憶」の開催	6		



大阪外国語学校の創立と林蝶子氏

1921（大正10）年12月9日、大阪市東区（区域変更により1925年4月1日以降は天王寺区）上本町八丁目に大阪外国語学校が設立されました。官立の学校ですが、「大阪に国際人を育てる学校を」という林蝶子氏の私財100万円の国への寄付を基に設立されました。当時の100万円は、現在の30～40億円ともいわれています。1944（昭和19）年には大阪外事専門学校と名称変更し、1949年には新制の大阪外国語大学になりました。大阪外国語大学は2007（平成19）年に大阪大学と統合し、大阪大学外国語学部になりました。今年は、大阪外国語大学創立100周年の記念すべき年です。（菅 真城）

写真出典：大阪外国語学校（『大阪外国語大学70年史資料集』）、林蝶子氏（『大阪外国語大学70年史』）

大阪大学吹田キャンパスに移転しました

大阪大学箕面キャンパスの栗生間谷から船場への移転に伴い、アーカイブズも移転することになりました。箕面キャンパスでのアーカイブズの専有面積は798㎡でしたが、新キャンパスではこれだけの面積を確保することはできず、全学的スペース検討ワーキンググループで学内での移転先を検討していただきました。その結果、吹田キャンパスの生命科学図書館4階の一角762㎡に移転することになりました。

移転作業のため、2020年12月18日から31日まで休室しました。それに先だって、内閣府に国立公文書館等および歴史資料等保有施設の移転を届け出ました。正式な移転日は、2021年1月1日です。

書庫は箕面キャンパスでは10部屋に分かれていましたが、それを特定歴史公文書等書庫と歴史資料等書庫の2部屋に集約することができました。

特定歴史公文書等書庫は、面積317.46㎡、書架延長1.41km。うち0.535kmを既に使用しており、残りは0.875kmです。まだ余裕があるとはいえ、将来の収蔵が心配です。また、



生命科学図書館 4階 略図面

南側に面しており、窓ガラスは遮光カーテンで外光を防いでいますが、夏場の温度調整が心配です。温湿度データロガーを設置して数値は把握していますが、夏場は冷房を入れることが必要かもしれません。

歴史資料等書庫は、面積115㎡、書架延長0.95km。一見書架延長に余裕があるように見えますが、それは図書館が使用していた集密書庫がそのまま置かれているためです。図書館ではこの集密書庫を主として文庫、新書等



大阪大学附属図書館 生命科学図書館 外観



特定歴史公文書等書庫

の小型本の収蔵に利用していたようで、棚の奥行きが浅いのが難点です。中性紙保存箱を入れることはできません。現在は学内刊行物等書籍形態のものを入れていますが、有効活用するための工夫を凝らしたいところです。集密書架以外の書架は既にほぼ埋まっております、今後の収蔵に心配があります。

閲覧室の什器は新調し、清潔感溢れるものになりました。座席は18席ありますが、現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため約半数に間引いて運用しています。

閲覧室内には、小規模ながら展示コーナーを設けました。まだ展示は行えていませんが、今後取り組んでいく予定です。

今回の移転にあたって、附属図書館生命科学図書館には大変お世話になりました。MLA (Museum, Library, Archives) 連携がいられている現在です。せっかく図書館内に移転したので、そのことによる新たなLA連携ができないか模索しています。



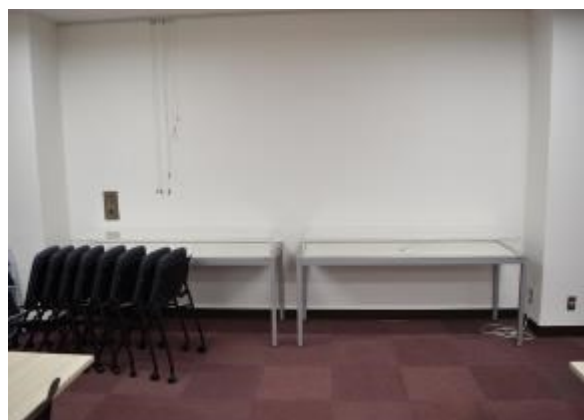
歴史資料等書庫



歴史資料等書庫 集密書架



閲覧・展示室



展示コーナー

資料寄贈のお願い

アーカイブズでは、大阪大学(大阪外国語大学、旧制の大阪帝国大学・大阪医科大学・大阪工業大学・大阪高等学校・浪速高等学校・大阪薬学専門学校・大阪外国語学校・大阪外事専門学校やその前身校を含みます)に関する様々な資料を収集しています。

広報誌などの学内刊行物、時間割、講義ノート、文書資料、学生運動関係等のビラ、写真(アルバム)、記念品など、大阪大学の歴史に関する資料がございましたら、アーカイブズにご寄贈もしくは貸与いただけますよう、お願い申し上げます。

国立公文書館の認証アーキビストと

大阪大学のアーキビスト養成・アーカイブズ学研究コース元年にあたって

大阪大学アーカイブズ 室長・大阪大学大学院法学研究科 教授 高橋 明男

So let it be written. So let it be done. (そのように記録し、そのように行え。) これは、パラマウント映画「十戒」(1956年、セシル・B・デミル監督)の中で、チャールトン・ヒストン演じるモーゼが、数々の奇蹟(災い)を顕すことによってユダヤ人のエジプト国外への解放を迫るのに対抗して、ユル・ブリンナー演じるエジプトのファラオ・ラメスが、ユダヤ人に麦わらを自ら集めてレンガを作れという難題を課すべく発する言葉である。王の命令が記録され、実行されることが象徴的に描かれる。古代エジプトは、メソポタミアのシュメール人の楔形文字と並ぶ古代文字である象形文字によって、パピルス文書はもちろんのこと、様々な建造物、壁画等に多くの記述が残されていることが知られている。そのように残された記述は、王の功績、宗教的な意味を持つ呪文、裁判記録、経済文書から文学、手紙まで多様であり、史料に残された文字の解説が進むにつれて、王の命令が記録されることが普通のことであったと考えることに無理がないことが判明してきた。古代エジプトにおいては、記述を担う書記の社会的地位は高く、書記を養成する学校もよく整備されていたとされる(笈川博一『古代エジプト』142頁以下、講談社学術文庫、2014年)。

もっとも、そのように残された記録が客観的に正確なものであったことは保障されていない。聖書の出エジプト記は映画「十戒」の素材となったものであるが、宗教書である聖書には、モーゼが(2つ目の)十戒を初めとして、神の数々の言葉を記録したと書かれている(出エジプト記24.4、34.28、民数記33.1、申命記31.9、31.22-24等)。聖書の記述では、モーゼに率いられてエジプトを脱出したユダヤ人は総計60万を超えるとされるが(民数記1.44)、そのように大きな出来事の記録がエジプト側では発見されていない。映画「十戒」には、ユダヤ人のモーゼが幼いときからエジプトの王女に育てら

れたとする聖書の記述(出エジプト記2.1-10)をもとに、王子として育てられたモーゼのエジプトに対する裏切りに怒ったファラオが、モーゼの名前をあらゆる記録から削除せよと命じる場面が出てくる。その結果としてエジプトではモーゼの記録が残されていないことが説明されているのであるが、そのような解釈はともかく、エジプトにおける記述が王によって書き換えられることが珍しくなかったことは、改変や破壊の痕跡によって裏付けられている(笈川・前出44頁、75頁)。記録が大切にされ、書記の地位も高い社会ではあったが、古代エジプトにおいて記録を残すことは、客観的に正確な事柄を後世に残すことを目的としていたとは必ずしもいえないようである。為政者の恣意によって左右される記録ではなく、第三者による歴史的客観的な検証を可能にするような記録が制度的に作成・管理・保存される仕組みが成立するには、後世を待たなければならなかった。

公文書を管理保存し、歴史的な検証を可能にする近代的なアーカイブズの仕組みとその専門的な担い手の養成・配置は、市民革命後のフランスにおいて始められたとされる。現在、フランスでは公文書のレコードスケジュールの管理からアーカイブズにおける非現用文書の保存管理に至るまで、専門職としてのアーキビストが関与する仕組みが整えられている。そのような近代的な公文書管理の制度化が遅れていたわが国においても、2009年に公文書管理法が制定され、現用文書の作成・管理から廃棄、国立公文書館等への移管と特定歴史公文書等としての保存・管理に至るまでの公文書管理の基本的な仕組みが整えられてきた。しかし、公文書館法において「歴史資料として重要な公文書等についての調査研究を行う専門職員」(4条)と規定された専門職の制度化は同時には行われなかった。

その意味で、2020年は画期的な年として記録

される。2018年に国立公文書館においてアーキビストの職務基準書が策定されたことに続き、職務基準書に準拠した認証アーキビストの制度が、2020年度から国立公文書館において始められた。認証アーキビストは、図書館司書や博物館学芸員のような法律上の資格ではないものの、公的な専門職としてアーキビストを位置づける第一歩となるものである。

認証アーキビストの認定要件は、これまでアーカイブズの業務に携わってきた人のために用意された要件（実務経験5年以上と2点以上のアーカイブズに係る調査研究実績）とは別の類型として、大学院修士の学位、認められた専門課程の履修、3年以上の実務経験、1点以上のアーカイブズに係る調査研究実績が定められている。2020年度の認証においては、専門課程として認定されたのは学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻のみであり、高い専門性を身につけることを制度的に担保することが意図されている。関西地区においてもアーキビスト養成の拠点があることが望ましいことから、2020年度から大阪大学アーカイブズは、認証アーキビストの専門課程を整備することを目的として、文学研究科・法学研究科・経済学研究科の協力の下に、大学院横断的な「アーキビスト養成・アーカイブズ学研究コース」を開設した。2021年度からは、その全面的な運用を開始する予定で、国立公文書館に対して、認証アーキビストの課程としての認定を申請中である。また、アーキビスト養成のための学習書がまだ少ないことから、導入書とすべく、大阪大学アーカイブズ編の『アーカイブズとアーキビスト 記録を守り伝える担い手たち』（大阪大学出版会、2021年）を上梓した。

認証アーキビスト制度が始まったことで、公文書の管理・保存の仕組みは、その制度的な整備が一段階進められた。しかし、アーカイブズとアーキビストの制度には、まだ多くの課題が残されている。

その一つとして、アーキビストの職務基準書には現用文書のレコードマネジメントの能力についても記述されているものの、公文書管理法において国立公文書館が現用文書のレコードマ

ネジメントに主体的に関与する制度が構築されていないため、アーキビストの職務も非現用文書としての移管後の選別、保存、利用請求への対応に事実上限定されている。現用文書の段階で適正な管理が行われることが、客観的な検証を可能にするために不可欠であるから、専門職としてアーキビストが現用文書のレコードマネジメントに関与する仕組みが必要であろう。

また、アーキビストが専門職として認定されることが、これまで事実上の専門職として、非正規職員の待遇で働くことを余儀なくされてきた少なからぬ人の処遇改善に結びつくことが重要である。同時に、ジェネラリスト（一般職）としてアーカイブズの業務に携わる人との間で適正に職務が分担されることも課題であろう。これまで、わが国においては、ジェネラリストとして採用され、定期的に異動を繰り返して複数の職場の職務経験を積んでいくことが正規職員では普通であったことが、認証アーキビストよりも専門性を弱める准アーキビストの制度化にあたっては考慮されるべきであろう。

さらに、現状でアーキビストが公文書の管理・保存に関わることが多いことから、アーキビストの職務基準書も認証アーキビストも公文書の管理にウェイトが置かれている。しかし、わが国においては、私文書の形で多くの貴重な史料が保存されていること、公文書管理法の適用を受けない私立大学等の私的組織や企業も多くの歴史的な価値のある文書を作成管理していること、今後、公私の境界を超越する組織が益々増大するとみられること等を考慮すると、アーキビストの資格内容をそれに対応するものにしていくことが、アーキビスト制度を普及させていく上で必要であろう。

アーキビストの公的資格化の道のりは始まったばかりである。（公）文書館の整備も、基礎自治体ではまだまだこれからであるから、アーキビストの公的資格化が順調に進んでいくためにはその職域の拡大が同時に進むことも大切である。大阪大学アーカイブズが開始する「アーキビスト養成・アーカイブズ学研究コース」がその一助になることを期待している。

令和2年度 共同展示会「大阪と北摂の過去と現在をつなぐ記録と記憶」の開催

2021年1月29日～2月25日にららぽーとEXPOCITY 3階 FOOD PAVILION前のガラスケースで、共同展示会「大阪と北摂の過去と現在をつなぐ記録と記憶」を開催しました。主催は、大阪大学アーカイブズ・大阪府内自治体「公文書管理と保存」連絡会議です。この連絡会議の構成メンバーは、大阪府、豊中市、高槻市、吹田市、箕面市、池田市、大阪大学です。

会期中を前後期に分け、展示替えをしました。前期は2021年1月29日～2月11日に「大阪と北摂における防疫の記録」と題して、大

阪府と大阪大学が出陳しました。新型コロナウイルス感染症が拡大している現在、過去の防疫を振り返ろうという企画です。大阪大学適塾記念センターにもご協力いただき、適塾関係の貴重な資料のレプリカを展示していただきました。

後期は2021年2月12～25日に「大阪と北摂のまちの変遷」と題して行いました。代表的なまちの過去と現在を対比する企画です。出陳団体は、豊中市、池田市、吹田市、箕面市、大阪大学でした。



大阪大学適塾記念センターの展示



後期の展示(2021年2月12～25日)

科学研究費補助金の採択

高橋明男室長を研究代表者とする日本学術振興会科学研究費補助金（基盤(C)）が採択されました。

研究課題：公的文書の管理・保存におけるアーキビストとジェネラリストの役割に関する比較研究

研究代表者：高橋明男
(大阪大学大学院法学研究科教授)

研究分担者：菅 真城
(大阪大学アーカイブズ教授)
安田理恵
(名古屋大学アジアサテライト
キャンパス学院(法)特任講師)
折登美紀(福岡大学法学部教授)
佐藤英世(東北学院大学法学部教授)

研究期間：2020年4月1日～2023年3月31日

研究開始時の研究の概要：

本研究は、公的文書の管理・保存に係る専門職としてのアーキビストの役割について、アーカイブズと専門職としてのアーキビストの制度が確立している諸外国と比較し、わが国における現状の調査と併せて、ジェネラリストとして定期異動を繰り返すことが通常である文系公務員・職員の中で、どのように専門職としてのアーキビストがその重要な役割を果たし、公的文書の管理・保存プロセスの専門的合理性を確立することができるかを検討する。

専任教員が認証アーキビストに認証されました

2021年1月1日付で独立行政法人国立公文書館長が認証する認証アーキビストに、菅 真城教授が認証されました。

わが国では、司書、学芸員は国家資格ですが、アーキビストには国家資格がありません。そのようななかで、認証アーキビストは初めて公的機関が認めたアーキビストになります。この度は、菅教授を含め、190名が認証されました。

「認証アーキビスト」については、国立公文書館HP等をご確認ください。

国立公文書館 <http://www.archives.go.jp/>



業務日誌(抄) (2020年9月～2021年2月)

2020年

- ・ 9月8日 大阪大学附属図書館から、1) 大阪帝国大学医学部の留学生在籍状況・成績、2) 大阪帝国大学および大阪大学医学部の同窓会誌について照会
- ・ 10月14日 菅教授、南山アーカイブズ主催オンライン講演会「アーカイブズと図書館：大学におけるLA連携の可能性」で「大学におけるMLA連携の可能性－大阪大学の事例を中心に－」講演
- ・ 11月6日 大阪大学全学組織等の点検ヒアリング
- ・ 11月9日 閲覧者に所蔵資料（特定歴史公文書等）についてレファレンス
- ・ 11月18日 学外から戦前の女子学生の経歴について照会
- ・ 11月24日 新任教員研修プログラム「大阪大学の歴史」を開催
- ・ 12月3日 菅教授、京都出張。全国大学史資料協議会西日本部会2020年度第1回研究会（富士ゼロックス京都）に出席

- ・ 12月4日 NHK岡山放送局から電話取材
- ・ 12月18日～2021年1月31日

アーカイブズ移転にともなう休室

2021年

- ・ 1月1日 大阪大学附属図書館生命科学図書館4階へ移転
- ・ 1月19日 明治大学史資料センターから所蔵資料の財産登録について照会
- ・ 1月20日 学外から目録および利用方法について照会
- ・ 1月29日 ららぽーとEXPOCITYで共同展示会「大阪と北摂の過去と現在をつなぐ記録と記憶」を開催。テーマ「大阪と北摂における防疫の記録」
- ・ 2月1～28日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閲覧室を閉室
- ・ 2月8日 神戸女学院大学教員から「アーキビスト養成・アーカイブズ学研究コース」について照会
- ・ 2月12日 ららぽーとEXPOCITYでの共同展示展示替え。テーマ「大阪と北摂のまちの変遷」

大阪大学アーカイブズ利用案内

・開室日

次に掲げる日を除く毎日

- (1) 日曜日及び土曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3) 12月29日から翌年の1月3日までの日

・利用時間

午前9時30分～午後4時30分

・利用請求の受付

午前9時30分～正午、午後1時～午後4時

大阪大学アーカイブズ構成員名簿

室 長 高橋 明男（法学研究科・教授）
教 授 菅 真城（法人文書資料部門）

〈兼任教員〉

【法人文書資料部門】

瀧口 剛（法学研究科・教授）
三阪佳弘（高等司法研究科・教授）
藤本慎司（工学研究科・教授）
阿部浩和（サイバーメディアセンター・教授）
安岡健一（文学研究科・准教授）
中村征樹（全学教育推進機構・准教授）

【大学史資料部門】

菅 真城（アーカイブズ・教授）
飯塚一幸（文学研究科・教授）
田口宏二郎（文学研究科・教授）
廣田 誠（経済学研究科・教授）
松永和浩（適塾記念センター・准教授）

〈事務担当〉

大阪大学総務部総務課文書管理係



大阪大学アーカイブズニュースレター 第17号

発行日 2021年3月31日
編集発行 大阪大学アーカイブズ
〒565-0871
大阪府吹田市山田丘2-3
吹田キャンパス 生命科学図書館4階

Tel. 06 (6879) 2421
Fax. 06 (6879) 2422
E-mail office@archives.osaka-u.ac.jp
http://www.osaka-u.ac.jp/ja/academics/facilities/ed_support/archives_room